

このコーナーではK-Car Meetingに、ゆかりのある方々に登場頂き、思い出話いや、今後のK-Carへの想いや時には裏話などを語って頂きます。

そして次の方へとバトンをつないで頂きます。その名の通り『メッセージリレー！』

記念すべき第1回目は、K-Car Meetingの元祖「K-CARスペシャルミーティング」開催立ち上げより支援頂きましたテイクオフの米田さんです。

次は貴方の番かもしれません。お楽しみに！

私がサーキットでレースを経験したのは18歳の時でした。

その後、1996年に軽自動車だけによるイベントが出来ないかと当時の専門誌K-CARスペシャル編集部に相談し、K-CARスペシャルミーティングが誕生しました。

イベントが大きくなるのを実感しながらも、ただただ単純にレースで勝つ事を目標に純粋に楽しんでいました。

お陰様でテイクオフレーシングコペはスーパーバトルクラスで、前人未到の7連続ポールトゥウインも達成しました。

同じ軽自動車でも、それぞれの楽しみ方はあります。

ある人はスポーツ走行を楽しみ、

ある人はドレスアップを楽しみ、

ある人はレースで競い合うことを楽しみ、

ある人はそれを見る事を楽しみにされるなど、

色々なK-CARファンが集結出来るこのイベントは、まさしくK-CARの祭典だと思います。



TAKE OFF

時代の流れから、イベントを支えて頂く出版社も変わり、今では出版社も無くなり皆さんの声がイベントを支えているんだなと思います。

我々メーカーも、もっと積極的に協力してイベントを支え継続して行かなければならないと思っております。

これからも、K-Car MEETINGが継続開催される事を心より願います。

また、色々な思い出や、出会い、繋がりができるこの大会に一人でも多くの参加者が増える事を願います。

最後になりますが、これからも宜しくお願ひ致します。



株式会社テイクオフ
代表 米田 幸史



次回メッセンジャーは、
パワーハウスDTMの
郡山嘉勝さんです。